

2025年2月7日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



中部国際空港株式会社が発行するソーシャルボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、中部国際空港株式会社(以下 同社)が発行するソーシャルボンド⁽¹⁾(5年債 60億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

同社はソーシャルボンドの発行にあたり、国際資本市場協会(ICMA)が定める「ソーシャルボンド原則2021」および「金融庁ソーシャルボンドガイドライン」に基づき、4つの要素(調達資金の用途、プロジェクトの評価及び選定のプロセス、調達資金の管理、レポートイング)を記載したソーシャルボンド・フレームワークを策定しています。また、本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、「ソーシャルボンド原則2021」等との適合性に対する外部評価(セカンドオピニオン)を取得しています。

同社グループは、日本の主要ゲートウェイとして進化を続け、地域社会の発展に貢献するスマートで魅力的な拠点空港の実現を目指し、「Safety First, Centrair」「Sustainable Growth, Centrair」「Super Smart, Centrair」「Smile!, Centrair」という4つの「S」を掲げてSDGs経営を実践しています。本債券の調達資金は適格事業である空港事業、交通アクセス施設事業、商業事業に充当される予定です。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金用途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	中部国際空港株式会社第13回社債(一般担保付)(ソーシャルボンド)
発 行 年 限	5年
発 行 額	60億円
利 率	1.132%
発 行 日	2025年2月25日
償 還 日	2030年2月25日
資 金 使 途	法令に規定される事業のうち適格事業(①空港事業②商業事業③交通アクセス施設事業)に充当される予定
取 得 格 付	AA-(株式会社格付投資情報センター)
主 幹 事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 野村證券株式会社

(1) ソーシャルボンドとは、社会的課題解決に向けたプロジェクトに要する資金を調達するために発行する債券

※SDGs債ロゴについて:SDGs債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs債とは、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券や、SDGsの実現に貢献するKPI設定/SPTs達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体がSDGsに貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上